

セレモニー

## 三津野建設多目的ホールで敬老会

### 健軍校区第一町内自治会

健軍校区二町内自治会（村上徹郎会長）は9月15日、（株）三津野建設（熊本市東区健軍本町、西尾剛人社長）の多目的ホールで同町内の敬老会を開いた。

敬老会は80歳以上を対象にしており、町内には約90人が居住。そのうち28人が参加した。はじめに村上会長が「今年は11人が敬老会に入り、4人が米寿を迎えた。健軍校区では努力目標として健康町づくり実践をしている。健康手帳をつ

けて自分の健康をチェックしていくことが大事。また、高齢者の病気のほとんどが生活習慣病。二町内ではラジオ体操をしており、もつと多くの方に参加してもらえば健康の増進につながると思う。今日は色々な出し物があるので楽しんでください」とあいさつ。会では米寿の記念品贈呈や子供会による歌の披露、堀内春菜さんによる歌謡ショー、マジックショーや懐かしの歌などを楽しんだ。



村上徹郎会長

▲マジックショーや懐かしの歌などを楽しむ参加者



子供会によ

る歌の披露



▲慰靈碑に移動しての合祀

出席者



▲韓国安市のファン市長（右）に熊本の農業の現状を説明する宮本組合長

セレモニー

## 献眼者64靈合同慰靈式

### 熊本ライオンズクラブ

熊本ライオンズクラブ（熊本市中央区細工町1丁目、深川暉久会長）は9月23日、熊本市動植物園みどりの相談所で熊本県献眼者64

靈合同慰靈式を開いた。当日は献眼者の遺族やライオンズクラブ関係者など約120人が出席。初めに2006年2月から13年3月までの期間に献眼した64靈に黙とうをささげた。式主の深川会長は

「角膜移植でしか光を取り戻せない人のため深い人類愛から勇気を持つて献眼された御靈に感謝し続けたい」と慰靈の言葉を述べ、続いて来賓そして遺族代表のあいさつの後、献花を行った。

その後、出席者らは動植物園西側にある献眼者顕彰慰靈碑に移動し、64靈の芳名プレートを合祀（ごうし）した。

J A熊本市で農業問題について意見交換 韓国のファン安城市長ら 海外視察の一環で来熊した韓国ファン・ウンソン安城市長は9月4日、熊本市のJA熊本市本店を訪れ、宮本隆幸組合長らと農業問題について意見を交わした。

安城市はソウルの南に位置する20万都市。訪問したのはファン市長ら市幹部10人で、熊本・日韓文化スポーツ交流会会长の荒木章博県議らが同行した。意見交換ではTPP問題や6次産業化、農地集積の推進などについて

両国の実情や取り組みを紹介。ファン市長は「今度もお互いに協力しながら農業発展に努めよう」と語りかけた。

また、ファン市長らは熊本滞在中、蒲島郁夫知事を表敬訪問したほか、再春館製薬所やフレッドバル熊本なども視察。案内役を務めた荒木県議は「安城市は経済成長が著しく、仁川にも近い。交流を深めればアシアナ便の利用促進につながるなど熊本が得るメリットは大きい」と話している。

etc

## J A熊本市で農業問題について意見交換 韓国のファン安城市長ら



▲韓国安市のファン市長（右）に熊本の農業の現状を説明する宮本組合長



▲会談を終え、記念写真に納まるJ A熊本市と安城市的幹部ら。会談には荒木県議（左から2人目）も同席した